自然共生社会 生物多様性 [自然共生社会を構築するために]

私達の生活は、さまざまな「生物多様性」の恵みを受けて成り立っています。

そしてユニーの売り場に並んだ「生物多様性」の恵みを、お客様が購入することで、「生物多様性」を守ることにつながる取り組みを進めています。 また次世代を担う子ども達が体験を通して「私達はたくさんの生き物と一緒に生きている」ことを学ぶ環境学習を行っています。

《 命と暮らしを支える生物多様性

地球が誕生して以来、長い時間をかけて私たち人間を含めたさまざまな生き物が生まれ、つながり 合って生きてきました。その生物多様性がもたらす恵み「生態系サービス」によって、私達の命や暮ら しは支えられています。生物多様性条約では、この生き物のつながりを3つのレベルに分類しています。

地球上に3,000万種の生き物がお互いにつながり合って生きている生物多様性ですが、人間の活動 が原因で毎年4万種が絶滅していると推定されています。その要因は、①開発・乱獲により自然を破壊 している、②里地里山などに人間が手を入れなくなった、③外来種の持ち込み、化学物質の排出などで 生態系を撹乱した、④地球温暖化の影響、が挙げられています。

生態系の多様性

種の多様性

いろいろな生き物がいること

遺伝子の多様性

同じ種でも個体差があること

1992年にリオ・デ・ジャネイロで開催された地球サミットで採択され、193の国や地域が加盟しており、地球温暖化防止を目的とした国連気候変動 枠組条約とともに環境関連の重要な条約で、1993年に発効しています。その目的は、①生物多様性の保全、②その構成要素の持続的な利用、③遺伝 資源の利用からの利益の公正かつ均衡な配分、です。

2010年に愛知・名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催され、「名古屋議定書」(食品や医薬品の開発につながる動植物 や遺伝資源から得られる利益の分配について)、「愛知ターゲット」(生物多様性の損失速度を減少させ、さらに生態系、種、遺伝子の多様性を守り接 続可能に利用するための行動を人々が認識すること)がCOP10で決議されました。

生物多様性を守る取り組み

私達が生きるために必要な酸素は植物によってつくられ、汚れた水は微生物によっ て浄化されています。このように私達人間は、いろいろな生き物からさまざまな「恵 み」をもらって生きています。こうした恵みを与えてくれる生物多様性を守った食べ 物や製品を選んで購入することが生物多様性を守ることにつながります。ユニーでは お客様が買い物することで生物多様性保全につながる取り組みを「供給作用」を通 して行っています。

サポート ●生息地 ●栄養 ●水

緩和作用

●気候変動を緩和

●害虫・病気・汚染を制御

●十壌の 形成

食料・繊維・燃料・淡水・遺伝子・ 供給作用 資源の供給

文化的 効用

精神・宗教的価値・知識・教育・ インスピレーション・ レクリエーションや美しいものの提供



環境パートナーシップ・CLUB

中京エリアの企業・団 体が環境について協働 で取り組むことを目的に した「環境パートーナー シップ・CLUB」では、 会員の要望で「EPOC 生物多様性ライフサイク ル別事例集」を作成しま した。従来の企業活動と 生物多様性のつながりに 新たな「気づき」を得ら れることを目的にしてい ます。ユニーも「テーブ ルの上の生物多様性」 で掲載されました。



EPOC生物多様性 ライフサイクル別事例集

生物多様性を利活用した商品・容器包装

FSC認証マークを取得

FSC: Forest Stewardship Council (森林管理協議会) は、国際的な森林管理の 認証をおこなう協議会で1993年に設立されたNGOであり、製品の原料を生産する森 林・製品・流通過程の評価、認定・監督をおこなう機関です。FSC認定制度は、FSC の定める基準を満たした製品について、それを保証してラベリング (FSC認証マーク) を

表記する制度です。消費者はラベリングされた製品を 選択することで、環境や社会に大きな負担をかけてい ない商品を購入、消費できる仕組みとなっています。

Style ONEパルプトイレットペーパーは、今回のリ ニューアルを期にFSC認証マークを取得しました。これ は「品質の良い商品を使いたい。でも環境にも配慮し たい」という相反する需要を同時に満たすことができる 商品であるとこを意味します。



FSC木材利用 Style ONE パルプトイレットペーパー

バイオマスプラスチック製容器の洗剤

バイオマスプラスチック製容器には、重量の30~ 40%にサトウキビの廃糖蜜を原料にしたPETとPEを 使っています。枯渇が懸念される石油の使用を抑制す るとともに、生育段階における光合成によって廃棄

時に発生するCO2を相殺し ます。また、植物を原料に しているので、何度でも栽 培でき、持続可能です。こ れらの商品には、一般社団 法人日本有機資源協会の 認定を受けて「バイオマス マーク」をつけています。



